

若狭ネット

第110号 2008年1月23日

発行：若狭連帯行動ネットワーク

代表連絡先 福井：「止めなくちゃ！

げんぱつ」連絡会（〒915-0235 越前市不老町6-36 山崎方 TEL0778-42-3630） 大阪：日高原発に
反対する大阪の会（〒583-0005 藤井寺市惣社1-1-21 久保きよ子方 TEL/FAX 0729-39-5660）
ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~wakasant/> E-mail: wakasa@gaea.ocn.ne.jp

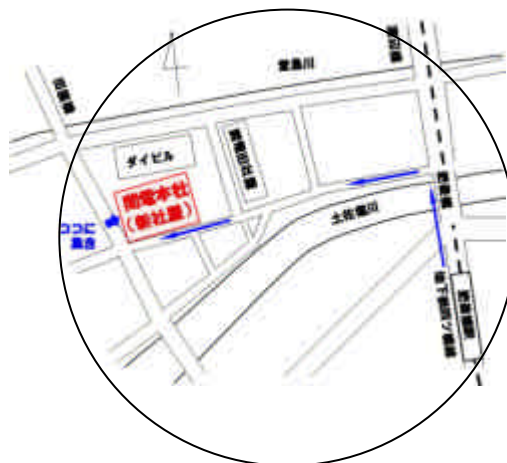
若狭の原発は古く、維持管理がますます危険な状態に！
若狭の周辺の活断層は、大きな地震をもたらす
敦賀半島にある「もんじゅ」の運転再開は、危険な動き！

美浜 2号炉 ギロチン破断事故から1年 原発の安全性は担保できたのか

関電本社交渉に参加を

2月 8日（金）
午後 6時～

場 所： 関西電力本社
(地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅下車 徒歩7分)



若狭の原発は、古くなり 悲鳴を上げている

今から17年前に関西電力が起こした重大な事故を知っていますか。この事故が起こる前まで国や電力会社は、原子力発電所は、危険な放射能は大気には出さないし、重大事故が起こる前に未然に防ぐ安全操作ができています。『日本の原発の安全性』を大宣伝していました。

この事故とは、美浜原発 2号で蒸気発生器細管のたった 1本が、1991年 2月 9日午後1時40分、ギロチン破断し、55トン以上の熱水と高温蒸気が半日以上漏れ続け、緊急停止したのです。

この細管は、インコネルという合金で作られており、破断など絶対に起こらないと安全宣伝した矢先



のことでした。その後、インコネルの材質を変えたり取り替えたりして運転を再開させました。

原子力発電所の運転のむずかしさは、少しの器具の不具合やミスで、放射能を閉じこめている(原子炉容器)中心部まで多大な影響を及ぼしてしまうという危険なものであることを私たちに教えてくれました。

現在、蒸気発生器を取り付けている溶接部分で、

溶接のためひびが入っているという原発もあると報告されています。

関電は、古くなった原発を徹底点検してるの？

それでは、関西電力は、原発をしっかりと点検しているのでしょうか。あなたは、電力会社は、しっかりと点検をしていると考えますか。残念ながら点検はきちんとされておられません。



今から4年前、2004年 8月 9日には美浜 3号で配管破断事故を引き起こしてしまいました。関電は、5名の尊い命を奪い、6名の方が今も後遺症で苦しんでいます。この事故を起こした配管は、運転以来28年間、一度も点検もしていなかったし、すぐに点検すべきところとは、認識していなかったと事故報告しています。それでは、関電は、事故を教訓として点検を徹底する姿勢に変わったのでしょうか。残念ながら、違います。

未だに点検期間を短くしたり 修理が必要という箇所には、原発を止めないで修理をしてもいいという方向でいこうとしています。国も徹底した安全点検を要求していません。

なぜこのようなことになるのかいいますと、原発の経済性がなくなり、できるだけ止めないで、運転させなければ、採算があわないからなのです。

まさに、もうけを確保したい会社運営と、安全性への経費とがてんびんにかけられて、原発の運転をしなければならないのが宿命だからです。

今も悲鳴を上げ、警鐘を鳴らす原発

- ・ 大飯 2号で12月15日に湿分分離加熱器空気抜き管から蒸気漏れ。炭素鋼に長さ約80mmにも及ぶ減肉、2mmの穴が貫通しました。
- ・ 美浜 2号で、蒸気発生器管台溶接部の板厚は約68mmで、電気事業法に基づく工事計画認可申請書の板厚 (75mm) を下回っています。
- ・ 高浜 2号、蒸気発生器の入口管台溶接部でも、3つの蒸気発生器管台全てから円周状に損傷の信号が見られ、深刻な事態に。

県知事が、関電に4項目を要求

昨年11月26日関電は、プルサーマル計画について、「プルサーマル計画を早く進めたい。計画の準備作業の再開が出来るかどうか検討を開始したい。」と、発表しました。これに対し福井県の西川知事は、11月30日県議会の代表質問に答える中で、プルサーマル計画の再開に向けて県民の理解・信頼を得るためには、4項目の具体的方針を示し、関電が明確な対応を示すことが重要だと述べました。

その4項目とは、美浜 3号機蒸気噴出事故の被害者、遺族への誠実な対応。 原発トラブルの減少と対策。 高経年化対策。 耐震安全性への取り組みなどです。さらに西川知事は「計画の進展には回答が必要」だとの見解を示しました。

関電が、この県知事の4項目の具体的方針についてどのように回答するか。注目されます。

原発の耐震性についての回答は・・・？

地域防災では、「野坂断層帯」は長さ約31kmで、M7.3程度の地震が発生と推定されていますが、関電は美浜原発の設置許可申請書において、長さ17kmのみを起震断層と設定し、M6.9の地震しか想定していません。この両者の相違に関して、今回はどのように答えるのか、注目されます。2月 8日には、関電交渉を行います。多くの参加をお願いします。

2008年

2月 8日 (金) 午後 6時 ~

美浜 2号炉 ギロチン破断事故から 17年

原発の安全性は担保できたのか 関電本社交渉

場 所： 関西電力本社

(地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅下車 徒歩 7 分)

2月 17日 (日) 午後 1時半 ~ 4時

「喜友名正さんの悪性リンパ腫を労災認定せよ」全国署名を拡大しよう

「喜友名労災支援」学習集会

場 所： 大阪府立青少年会館

(JR「森ノ宮」駅下車 徒歩 10 分)

主催： 喜友名正さんの悪性リンパ腫労災認定を支援する会



3月 6日 (木) 午後 1時から

厚労省交渉に結集を！

厚労省に「喜友名さんの労災認定」を迫る

場 所： 参議院議員会館

編集後記

寒中 お見舞い申し上げます 今年もよろしくお願ひします

- ・ 国も電力会社も再度、原発・核燃料サイクル推進に邁進しようとしています。
今年の秋には、「もんじゅ」を動かし、多額の税金を注ぎ込む無駄使いを予定しています。関西電力もプルサーマル計画を進めようと画策しています。プルトニウムをエネルギーに利用することは、間違っています。もちろん兵器に転用することなど論外です。国の間違ったエネルギー政策で、滅んでいくのをなんとしても止めていかねばなりません。
- ・ 地震国で原発を運転することは間違っていました。しかし、想定する地震動より大きな地震が原発(柏崎・刈羽・女川・能登)を襲っているにもかかわらず、国会内では原発を止めようという声が高まっています。
- ・ 今年も、私たちは、福井の原発を一日も早く止めていく闘いに力をそそぎたいと思います。
共にがんばりましょう。

きよ子